

こどもクリニックニュース

NO. 151 平成24年8月1日発行
ともながこどもクリニック

休診の予定

8月19日(日)～8月26日(日)

ご迷惑をおかけします。

なお、水曜日は一日休診です。

お盆期間の診療

お盆期間は通常どおり診療いたします。

※ 水曜日は休診日ですが、8月15日(水)は午前・午後ともに診療いたします。

院長の予定 (2012年9月まで)

8月	3日	(金)	3ヶ月健診	保健センター
	27日	(月)	3才健診	保健センター
9月	24日	(月)	3才健診	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

休日の診療予定 (10月まで)

当院は下記の予定で診療いたします。これは加須市の「小児科休日診療」の一環でもあります。

9月17日(月) 敬老の日

9月22日(土) 秋分の日

10月8日(月) 体育の日

診療受付時間は午前8:30～12:00までです。

それ以外の日曜・祝日ならびに水曜日は、休診です。

11月から来年3月まで、例年同様に日曜・祝日の休日診療が実施される予定のようです。



感染症の情報

ヘルパンギーナと手足口病の患者さんが多い状態が続いています。毎年9月までは流行がきます。この病気には特効薬はありません。一番問題となるのは口内炎の痛みと、それによる食欲低下です。脱水症さえ起こさなければ、自然に回復していく病気です。

胃腸炎の患者さんは、この時期にしてはやや多く見られます。溶連菌感染症と水痘は減少しました。

その他、マイコプラズマ感染による肺炎や気管支炎の患者さんが目立ちます。特に小学生の年齢のお子様が多いようです。

猛暑が続いています。

じっとしているだけでも汗ばむ暑さです。

知らず知らずのうちに、身体の中の水分は「汗」となって体から出て行きます。熱中症は「脱水症」という事も出来ます。予防するには、

- ① 暑い場所にはなるべく行かない。
- ② エアコンを我慢しない。節電しない。
- ③ のどが渇いていなくても水分補給をする。

夏のベビーカーは要注意！！

アスファルトのような舗装道路の表面は、日中はかなり高温になっています。試しにご自分の手のひらで触ってみると良く分かるでしょう。

ベビーカーの中には地面の熱気で「蒸し風呂」状態です。中にいる赤ちゃんは体温上昇・脱水症を引き起こす恐れが高くなります。今の時期は、できれば抱っこやおんぶをお勧めします。どうしてもベビーカーを使用する時は、赤ちゃんを寝かせるマットの下に、保冷剤や断熱材を敷くことをお勧めします。

また、温度が上がった車内でエアコンをかけても、熱くなった座席やシートはすぐには冷えませんので十分ご注意ください。

インフルエンザワクチン接種予定

予約受付は、9月18日(火)より開始。

接種開始は10月15日(月)を予定しています。

例年どおり、完全予約制です。

「赤ちゃんのワクチン」 相談会

次回開催は

日時 : 8月12日(日曜) 9:00~

場所 : 当院待合室

申込 : 受付窓口(電話でも可)

内容 : ワクチンに関する基礎的な知識の解説
接種スケジュールを決めるポイント
いろいろなご質問へのお答え、など。

よくある質問や、標準的なスケジュール(またはお勧めパターン)の案内は、これまで通り当院スタッフも対応いたしますので、遠慮なくお尋ねください。

ワクチンデビューは「生後2ヶ月の誕生日」から!

不活化ポリオワクチン・7月末時点の情報

ワクチン接種に関する問い合わせや、予約の申し込みが増えてきました。しかしながら、当院を含めてすべての医療機関は、まだ加須市から正式な委託を受けていませんので、接種計画を立てられません。また、皆様の手元にも問診票が届いていないはずです。

ワクチンの量は十分あるそうですし、日本国内でポリオが流行しているわけではありません。あまりあせらなくて、加須市からの連絡をお待ちください。

すでに輸入(不活化)ワクチン接種を開始している方
8月までに接種した回数によって、残りの接種回数・時期が決まります。前述の場合と同様に、市から問診票が届いてから、お問い合わせください。

ちなみに、9月以降の接種は公費で受けられます。

不活化ポリオワクチンの接種回数は、3~8週間の間隔で3回、その後およそ1年後に追加接種(全部で4回)が日本の標準となります。



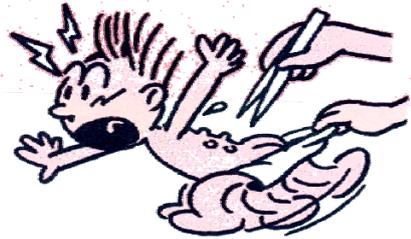
水いぼ 取りますか?

通称「水いぼ」、正式名称は「でんせんせいなんぞくしゅ伝染性軟属種」です。

ウイルスが原因の皮膚病で、2~3mmくらいの半球状のポツポツが特徴です。ほとんど痛みも痒みもありません。放置しておいても、おおよそ1年程度で消えて無くなります。ただ、見た目が良くないために、今の時期に気にされる病気です。

周囲の方への広がり方ですが、肌と肌が直接触れ合うことによって周囲にうつします。また同じタオルを使って体を拭いたり、スイミングのビート板や浮き輪を交互に使うとうつることがあります。一緒にプールに入っただけではうつりません。少し気をつければ、夏でも問題にならない病気といえます。

それでも早く治したい時は・・・盛り上がったポツポツを、ピンセットで一つずつつまみ取ります。ポツポツの中にウイルスの塊があるので「つぶすのではなく、つまみ取る」ことがポイントです。当たり前ですが、出血しますし痛いです。多くの子供は大暴れ・大泣きします。この病気の特徴や自然経過を総合的に考えれば、「何もしないで治るのを待つ」というのも、ひとつの選択肢だと考えられています。私も同感です。



お子様の診察は、保護者の付き添いをお願いします。

時々、診察室にはお子様だけ入って、保護者の方は待合室や外でお待ちになっているケースが散見されます。小児の診療は保護者の方との対話や相談が欠かせませんので、このような時は原則として、診察をお断りしています。ご理解とご協力をお願いします。

子どもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています!

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともなが子どもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150